

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成24年11月12日

【四半期会計期間】 第64期第1四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

【会社名】 株式会社カワニシホールディングス

【英訳名】 KAWANISHI HOLDINGS, INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高井 平

【本店の所在の場所】 岡山市北区今一丁目4番31号

【電話番号】 086-245-1112

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長 河田 肇

【最寄りの連絡場所】 岡山市北区今一丁目4番31号

【電話番号】 086-245-1112

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長 河田 肇

【縦覧に供する場所】 株式会社カワニシホールディングス東京事務所
(東京都千代田区大手町二丁目6番1号 朝日生命大手町ビル16階)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第63期 第1四半期 連結累計期間		第64期 第1四半期 連結累計期間		第63期	
	自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年7月1日 平成24年6月30日
売上高 (千円)		15,591,595		22,376,990		74,744,816
経常利益 (千円)		54,043		209,881		749,817
四半期(当期)純利益 (千円)		13,673		102,052		346,030
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		2,099		107,959		300,920
純資産額 (千円)		1,981,627		2,336,476		2,284,625
総資産額 (千円)		23,365,417		29,666,758		28,298,536
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		2.44		18.19		61.67
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		8.5		7.9		8.1

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、平成24年7月1日をもって、サンセイ医機株式会社(連結子会社)とサンセイ・メディック株式会社(連結子会社)は、サンセイ医機株式会社を存続会社とする吸収合併方式により合併しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

医療器材事業

手術関連消耗品は、引き続き順調に成長を継続しております。平成24年1月に連結対象となったサンセイ医機株式会社(福島県郡山市)の業績加算が主な要因ですが、そのほかにも、商権獲得が進んだ島根、山口、愛媛、徳島、高知の売上高は、前年同期比で10%超の増収となりました。その結果、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比185.7%となりました。

整形外科関連商品は、平成23年6月に株式会社カワニシ広島支店が受けた行政処分の影響から回復したに加え、関西地域(奈良、大阪)でのシェアアップが進みました。これに、サンセイ医機株式会社の業績が上積みされ、整形外科関連商品全体の売上高は前年同期比119.2%となりました。

循環器関連商品は、商権の獲得等で、愛知、山口、香川、徳島で前年同期比二桁の増収となりましたが、償還価格改定に伴う販売単価の下落に加え、全体的に症例件数が例年に比べ低調でした。そのため、サンセイ医機株式会社の業績が加わったものの、売上高は前年同期比109.0%にとどまりました。

その他、病院の新設・移転や増改築案件に係る設備・備品の販売が好調であったため、医療器材事業は、売上高196億53百万円(前年同期比 52.1%増)、営業利益2億51百万円(前年同期比 229.3%増)となりました。

ライフサイエンス事業

免疫系試薬の販売が大きく伸びましたが前年同期の大型案件販売の反動で、診断薬領域の売上高は前年同期比90.1%となりました。

基礎研究領域の売上高は、引き続き科学研究費が抑制され前年度並みとなったため、買い控えが継続していることに加え、診断薬領域と同様に前年同期の大型案件販売の反動から、前年同期比90.5%となりました。

その結果、ライフサイエンス事業は、売上高9億94百万円(前年同期比 7.3%減)、営業損失20百万円(前年同期 営業損失16百万円)となりました。

S P D 事業

医療器材事業と同様に、償還価格改定に伴う販売単価の下落と症例件数が低調だったことによって、売上高の伸びが小幅に留まりました。また、粗利益率も若干前年同期を下回りました。

その結果、S P D 事業は、売上高22億61百万円（前年同期比 1.7%増）、営業利益9百万円（前年同期比 31.3%減）となりました。

介護用品事業

平成23年6月期より、相次いで営業拠点を新設してきました。それによって、営業エリアの拡大に加え、迅速な対応によるサービス力の強化を図ることができました。その結果として、在宅ベッドのレンタル契約数が前年同期比121.2%と大きく増加しましたが、新規出店費用及び営業社員の拡充等の投資がまだ先行しているため、介護用品事業は、売上高2億34百万円（前年同期比 28.2%増）、営業利益8百万円（前年同期比 4.5%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は223億76百万円（前年同期比 43.5%増）、連結経常利益は2億9百万円（前年同期比 288.4%増）、連結四半期純利益は1億2百万円（前年同期比 646.4%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間の総資産は296億66百万円となり、前連結会計年度と比べ13億68百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が24億51百万円、商品が1億31百万円増加した一方で、現金及び預金が11億円減少したことによるものであります。

また、負債は273億30百万円となり、前連結会年度と比べ、13億16百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が12億42百万円、短期借入金が10億25百万円増加した一方で、未払法人税等が2億61百万円、長期借入金が5億95百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は23億36百万円となり、前連結会計年度と比べ、51百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益により1億2百万円増加した一方で、配当金により56百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、0.2ポイント減少し、7.9%となりました。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,250,000	6,250,000	東京証券取引所 (市場第二部)	株主としての権利内容に制限のない標準となる株式 1単元の株式数 100株
計	6,250,000	6,250,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		6,250,000		607,750		343,750

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 639,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,609,500	56,095	
単元未満株式	普通株式 1,400		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	6,250,000		
総株主の議決権		56,095	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式数には、証券保管振替機構名義の失念株式1,000株(議決権10個)が含まれております。

2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式が次のとおり含まれております。
自己保有株式 55株

3 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カワニシ ホールディングス	岡山県岡山市北区今1-4-31	639,100	-	639,100	10.23
計		639,100	-	639,100	10.23

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あけぼの監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,752,055	4,651,319
受取手形及び売掛金	2 14,090,323	2 16,541,493
商品	3,180,076	3,311,217
その他	1 767,382	1 707,548
流動資産合計	23,789,837	25,211,579
固定資産		
有形固定資産	2,878,036	2,858,323
無形固定資産		
のれん	475,087	446,347
その他	153,119	149,041
無形固定資産合計	628,207	595,389
投資その他の資産	1 1,002,454	1 1,001,466
固定資産合計	4,508,698	4,455,179
資産合計	28,298,536	29,666,758
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 18,506,614	2 19,749,448
短期借入金	3,367,640	4,393,266
未払法人税等	348,440	87,171
賞与引当金	13,740	29,040
その他	1,017,589	913,153
流動負債合計	23,254,025	25,172,078
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	1,637,291	1,041,455
退職給付引当金	322,364	319,224
役員退職慰労引当金	638,800	641,784
その他	111,430	105,738
固定負債合計	2,759,885	2,158,203
負債合計	26,013,910	27,330,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	2,158,424	2,204,368
自己株式	834,122	834,122
株主資本合計	2,275,801	2,321,745
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	8,823	14,730
その他の包括利益累計額合計	8,823	14,730
純資産合計	2,284,625	2,336,476
負債純資産合計	28,298,536	29,666,758

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	15,591,595	22,376,990
売上原価	13,956,953	20,126,958
売上総利益	1,634,642	2,250,032
販売費及び一般管理費	1,580,163	2,030,918
営業利益	54,479	219,113
営業外収益		
受取利息	342	331
受取配当金	418	345
持分法による投資利益	268	9
貸倒引当金戻入額	5,343	-
その他	4,266	7,997
営業外収益合計	10,639	8,685
営業外費用		
支払利息	10,420	15,802
その他	654	2,115
営業外費用合計	11,074	17,917
経常利益	54,043	209,881
特別利益		
特別利益合計	-	-
特別損失		
有形固定資産除却損	-	2,262
役員退職慰労金	-	5,000
特別損失合計	-	7,262
税金等調整前四半期純利益	54,043	202,618
法人税、住民税及び事業税	26,543	89,192
法人税等調整額	13,826	11,373
法人税等合計	40,370	100,566
少数株主損益調整前四半期純利益	13,673	102,052
四半期純利益	13,673	102,052

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,673	102,052
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	15,772	5,907
その他の包括利益合計	15,772	5,907
四半期包括利益	2,099	107,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,099	107,959
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるサンセイ医機株式会社とサンセイ・メディック株式会社が、サンセイ医機株式会社を存続会社として合併しております。

このことにより、連結の範囲に変更はありませんが、連結子会社の数は1社減少しております。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。	
なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
流動資産	22,487千円	24,487千円
投資その他の資産	44,208千円	6,923千円

2 四半期連結会計期間末日の満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日は金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が当第1四半期連結会計期間末日の残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	89,638千円	71,594千円
支払手形	365,189千円	385,151千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る減価償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
減価償却費	56,442千円	57,913千円
のれんの償却額	11,380千円	28,739千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	56,108	10.00	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月26日 定時株主総会	普通株式	56,108	10.00	平成24年6月30日	平成24年9月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	12,150,956	1,066,178	2,191,750	182,710	15,591,595		15,591,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	769,663	6,443	31,850	80	808,037	808,037	
計	12,920,620	1,072,621	2,223,600	182,790	16,399,633	808,037	15,591,595
セグメント利益 又は損失()	76,340	16,542	14,209	8,166	82,173	27,694	54,479

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額 27,694千円には、セグメント間取引消去3,405千円、各報告セグメントに配分しない全社費用 31,100千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	18,924,328	986,777	2,231,815	234,067	22,376,990		22,376,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	729,591	7,476	29,348	205	766,621	766,621	
計	19,653,920	994,253	2,261,163	234,272	23,143,611	766,621	22,376,990
セグメント利益 又は損失()	251,353	20,411	9,758	8,531	249,232	30,118	219,113

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額 30,118千円には、セグメント間取引消去 87千円、各報告セグメントに配分しない全社費用 30,031千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円44銭	18円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	13,673	102,052
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	13,673	102,052
普通株式の期中平均株式数(株)	5,610,874	5,610,845

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

株式会社カワニシホールディングス
取締役会 御中

あけぼの監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 三 瓶 勝 一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 東 本 浩 史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カワニシホールディングスの平成24年7月1日から平成25年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カワニシホールディングス及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。